

令和5年度東毛地区小学校体育科授業研究会 レポート

○日時：10月16日（月）

○会場：館林市立第一小学校

○单元名：ティーボール

○指導者：井上 早希 教諭

今年度の東毛地区の授業研究会は、館林市立第一小学校の井上早希教諭が授業を提供してくださいました。今回、公開していただいたティーボールは、多くの学校で実践されているベースボール型ゲームの代表格となる種目だと思います。今回のレポートでは、以下の3点を基にまとめていきたいと思っています。

1. 児童が意欲的に取り組む工夫

- ベースボール型ゲームの特性を生かした簡易化されたルールや場の工夫など全員が安心して参加できる手立てが多く、意欲的に学ぶ姿が印象的でした。また、ふり返りもロイロノートを活用し、充実しており、次時の授業を楽しみにしている児童がたくさんいました。

2. 作戦タイムの充実

- 前時までのふり返りを基に作戦を立て、チームみんなで実行していました。ゲーム中にも気づいたことを作戦カードに記入し、作戦タイムが充実していました。作戦タイムで確認したことをゲームに生かすことで、レベルアップすることができました。

3. 思考の充実

- 井上教諭は、児童に対して前向きな言葉かけが多く、活動に対して理由を問いかける発問が多くあり、児童の思考力向上に効果的でした。



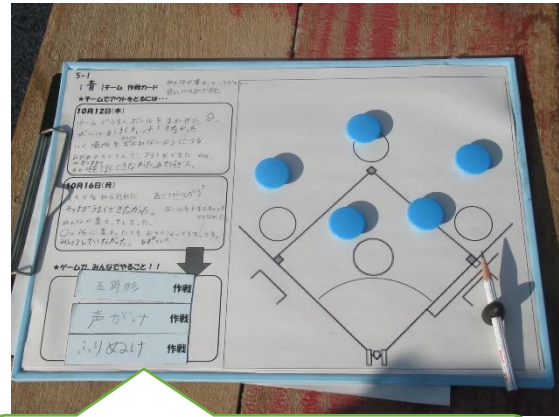
大きめのボールを使用し、誰でも打ちやすい工夫がされています。



打ったらコーンの中にバットを入れます。安全面の配慮もあり、みんなが安心です。



ボードを使って作戦タイムです。児童の思考が深まる場面でした。



「五角形作戦」「声かけ作戦」など作戦名を考えて実践に生かしていました。



めあての確認場面です。前時のふり返りが生かされており、しっかりとめあてを意識した授業につながりました。



井上教諭が作戦タイム中に声かけをしています。適切なアドバイスと問いかけにより、話し合いに深まりが見られました。

授業研究会では、KJ法を用いて活発な意見交換がされました。研究会に臨む姿勢からも先生方の体育授業に対する意気込みが感じられました。また、指導主事の方より、今後の授業実践へ向けた指導をいただきました。

今回の公開授業及び研究会は、よりよい体育授業への実践につながる貴重な機会となりました。授業を提供してくださった井上先生、そして、会場を提供してくださった館林市立第一小学校の先生方、研究会開催にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責：桐生市立天沼小学校 峯岸靖典)